



みんな元気！ 学校元気！ ふるさと元気！

# 「元気！」 第7号



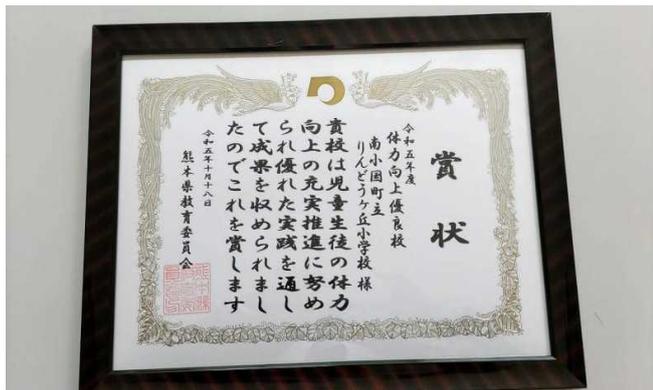
令和5年11月20日(月)発行 (りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。給食やブログ等をご覧ください)

## 6年連続「体力向上優良校」！

熊本県教育委員会が毎年実施している「体力向上優良校」表彰は、体力づくりに積極的に取り組み、成果を収めている学校を表彰するものです。

本年度も、県内から77校の小中学校及び高等学校等が受賞しました。阿蘇管内の小中学校の受賞は2校で、本校と阿蘇市立波野小学校です。

なお、本校は、新型コロナウイルス感染症防止のための全国一斉休校により中止となった令和2年度を除き、平成29年度から今年度で6年連続の受賞となります。



どこの学校にも、「めざす児童像」というものがありますが、本校にもその中の一つに、「たくましい心と体であきらめずがんばる子供」とあります。知・徳・体の体にあたる「めざす児童像」です。

心も体もたくましく育ててほしいというのはだれもが望むことだと思いますが、生活文化のめまぐるしい発展・成長により快適な生活が可能となったため、耐える心や我慢する心が弱くなってきていると言われています。

この、心の耐性について、興味深いお話を紹介します。

昔、「今川義元」が、人質にしていた「徳川家康」に対して、「むごい教育」をするように家臣に命令しました。

その「むごい教育」とは、「甘いものを食べさせ、寝起きの時間を自由にし、贅沢にさせ、我慢をさせず、礼儀をしつけるな。そうすれ

ば、たいていの者はだめになる。」というものでした。

これは、今の時代の子育てにも通じるものがあるように思います。

ちなみに、徳川家康が後世に名を残すことが出来たのは、「むごい教育」を「きびしいつけ」と勘違いした家臣が、「むごい教育」と真逆のことにしたおかげなのです。

少子化が進んでいる現在は、「子供は地域の宝」であり「未来の創り手」であります。

**教育は、家庭の教えで芽を出し  
学校の教えで花が咲き  
世間の教えで実がなる**

という「家庭心得」もあります。

子供を真ん中にして家庭・学校・地域・行政が五者連携をし、南小国町の未来の創り手に必要な資質・能力を育んでいきましょう。

そこで、今年も12月15日(金)にクロスカントリー大会をやりま

す。子供たちは、すでに練習を開始しています。

先日開催しました「絶叫！夢宣言大会」においても、「クロスカントリー大会で絶対歩かないようにしたいです！」と宣言する子供もいるくらいちびっ子アスリートたちのモチベーションも上昇中

です。本校のクロスカントリーコースは、急勾配の上り坂もあり、かなりの精神力が求められます。だからこそ、我慢する力やあきらめない心を養うことが出来ると考えています。

6年連続体力向上優良校としての誇りとプライドを持って自分の中の弱い心と戦って勝ち抜いてほしいと願っています。

このたくましい心と体は、これからの予測不可能な時代を生き抜く子供たちに必要な能力の一つです。ご家庭での励ましや応援をどうぞよろしくお願

いします。そして、そこに至るまでの過程の中で大事にしているのが学校総体としての組織集団の力です。創立20周年記念りんどう祭においてその成果を子供たちの姿をとおして披露します。

全校児童の心をついにした一糸乱れぬ「りんどう太鼓」と全校児童で創り上げる劇「りん小の過去・現在・未来」に、乞う！ご期待！！

令和5年11月22日(水)

13:30~役場内「きよらホール」です。多数のご来場をお待ち申し上げております。

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！